

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	立教大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	リッキョウダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	海外インターンシップ2
	学部・研究科等名	全学共通科目
	担当教職員名・役職	グローバル教育センター長 松本茂(経営学部教授)
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	22
	受入企業等数	17
	受入企業等名	アメリカ、中国、ベトナム、オーストラリア、イギリス、ドイツ、シンガポールの各企業(教育業、生活機器製造販売業、旅行旅客業、人材派遣教育業、食品販売業、コンサルティング業)
	インターンシップの分類	3.海外インターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	海外における就業体験を通じて、企業を知り、社会の仕組みを理解するとともに、国際的にも活躍できるグローバル人材としての能力を高めることを目指す。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している。8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前研修への出席および参加状況、派遣先企業での就業体験状況およびウィークリーレポートの提出、事後研修への出席および参加状況、ファイナルレポートの提出の各項目により評価し、基準を満たしている場合2単位を付与する。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている。2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている。4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている。2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている。3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ中に、学生はウィークリーレポートを作成し、大学に提出する。業務の内容以外に生活環境や体調などの報告を受け、必要に応じ、メール連絡やskypeでの面談を実施する。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	海外インターンシップに参加するにあたっての目的・目標の設定、マナー指導、安全管理、業界・企業情報収集、生活環境整備、レポート作成・報告手順、緊急連絡先の周知を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	海外インターンシップの活動を振り返り、①派遣前の自身の目標・目的は何か、②どのような就業体験を積んだのか、③目標・目的の達成度合いは何か、④就業体験を通じた自己分析、⑤今後の大学生活におけるアクションプラン、を取りまとめ参加者および学内一般学生に向けて参加学生が発表する。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3-3-2事後研修の項で示した通り。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間2週間～5週間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前研修1日、現地研修2週間～4週間、事後研修(成果報告会)1日として実施している。	

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学が作成した評価シートフォームをもとに派遣先企業から学生に対し、海外インターンシップ科目の中で取得・向上すべき各能力を項目ごとに評価し、学生・大学にフィードバックいただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://sy.rikkyo.ac.jp/timetable/slbsbdr.do?value(risyunen)=2017&value(semekikn)=1&value(kougicd)=FV432&value(crclumcd)=https://sy.rikkyo.ac.jp/timetable/slbsbdr.do?value(risyunen)=2017&value(semekikn)=1&value(kougicd)=FV433&value(crclumcd)=
問い合わせ先	大学等名	立教大学
	担当部署名	グローバル教育センター
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	伊藤
	電話番号	03-3985-4613
	メールアドレス	cghrd-info@rikkyo.ac.jp